

浸水(内水)ハザードマップ

ハザードマップを活用して災害に備えよう！



作成：令和3年3月
海田町防災課
☎082-823-9208(直通)
☎082-823-7927(直通)

「内水氾濫」とは、下水道などの処理能力を上回る降雨が生じた際、雨水を河川などに排水できなくなることにより生じる住宅、道路などへの浸水を表します。

近年増加している局所的かつ短時間の豪雨、都市化の進行により、海田町においても「内水氾濫」発生のリスクは高まっています。

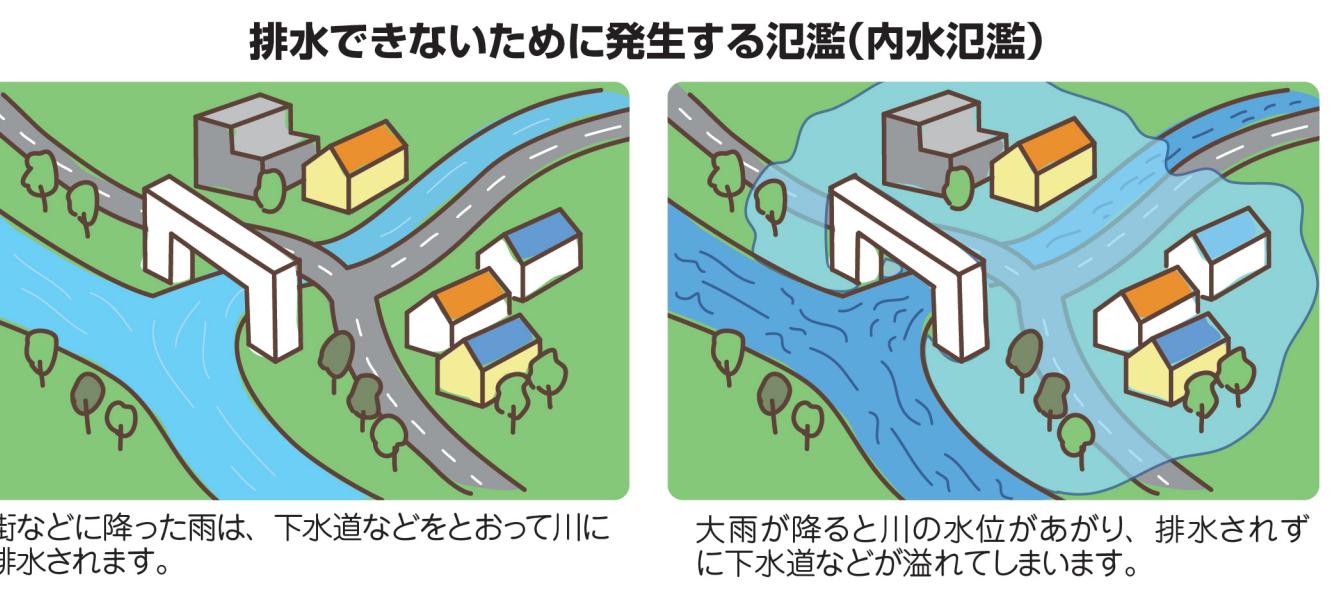
このハザードマップは、町民のみなさんが、自分の住んでいる場所がどの程度の雨でどの程度浸水するおそれがあるのかを把握してもらい、日頃から浸水被害の軽減を図ることを目的としています。被害を軽減する(防ぐ)ためには、正しい知識を身に付け、日頃から備えておくことが大切です。ハザードマップを活用し、日頃から危険箇所や避難場所、避難ルートを確認し、早めの避難行動が開始できるよう備えておきましょう。



水害について

水害発生の仕組み

水害は、川の堤防が壊れたり、堤防から水が溢れて氾濫する(外水氾濫)と、川に排水されるべき水が川に流れずに溢れてしまう氾濫(内水氾濫)などによって発生します。水害の発生する仕組みを理解して、身の回りの地域では、どのタイプの水害が発生しやすいか確認しておきましょう。



堤防が壊れて発生する氾濫(外水氾濫)



歩行が困難になる水深

成人男性 70cm
成人女性 50cm
子供・高齢者 20cm

ドアが開かなくなる水深

内開き 47cm
外開き 26cm

車への影響

50cm以上
30~50cm未満
10~30cm未満
10cm未満

車両の状況

50cm以上
30~50cm未満
10~30cm未満
10cm未満

車両の状況